

2025 年 8 月 1 日

各 位

株式会社 北海道銀行

株式会社丸三美田実郎商店の事業再編計画実現に向けた協調融資の取り組み
～馬鈴薯でんぷんの生産基盤を維持するための事業承継を協調支援～

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）、日本政策金融公庫札幌支店農林水産事業（支店長 若山 孝男）ならびに北海道信用保証協会（会長 阿部 啓二）は、株式会社丸三美田実郎商店（代表取締役 太田 壽一、以下「美田実郎商店」）に対して協調融資を実施いたしました。

畑作農業において馬鈴薯でんぷんの生産は、土壌の肥沃度維持や持続可能な農業を行うための輪作体系を組む上で重要な役割を持っており、株式会社カワハラデンブン（以下「カワハラデンブン」）が事業から撤退した場合、土壌の健康維持のみならず、畑作農業の生産基盤に影響が出る可能性があります。

美田実郎商店がカワハラデンブンを子会社化することで、畑作農業及び地場産業の生産基盤維持に寄与し、国産馬鈴薯でんぷん及び関連製品の生産体制の強化・効率化を図り、国産馬鈴薯でんぷん製品の増産、生産者の販売機会拡大及び経営安定化と更なる発展を目指します。

本件は美田実郎商店が策定した農林水産大臣等の認定を受けた事業再編計画（農業競争力強化支援法の規定による）に基づき実現した事例であり、当該計画の認定は北海道上川管内では初となります。後継者不足に悩む中小企業の課題解決や地域の馬鈴薯でんぷんの生産基盤維持に寄与する点から大きな意義を持つものとして協調支援が実現いたしました。

北海道銀行は事業承継スキームの検討・構築と資金支援、日本政策金融公庫は農業競争力強化支援資金活用による資金支援、北海道信用保証協会は経営承継準備関連保証制度による保証対応を実施するなど、それぞれの役割を最大限に発揮することで実現した顕著な事例です。

北海道銀行、日本政策金融公庫、北海道信用保証協会は、地域産業の発展のため今後も連携し、地域活性化に資する事業者様の意欲的な取り組みを積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業の概要

（1）株式会社丸三美田実郎商店（譲受企業）

住 所	北海道士別市上士別町 16 線北 2 番地	創業年月	1923 年 6 月
事業内容	農産物卸売及び顆粒片栗粉の製造販売	売 上 高	957 百万円（2025 年 3 月期）

（2）株式会社カワハラデンブン（譲渡企業）

住 所	北海道士別市南町西 4 区 1878	創業年月	1940 年 8 月
事業内容	馬鈴薯でんぷんの製造販売	売 上 高	256 百万円（2024 年 12 月期）

2. 支援内容

北海道銀行	承継スキーム構築、関係者間の調整、資金支援
日本政策金融公庫	農業競争力強化支援資金（※1）の提案・活用、資金支援
北海道信用保証協会	経営承継準備関連保証（※2）の提案・活用支援、保証支援

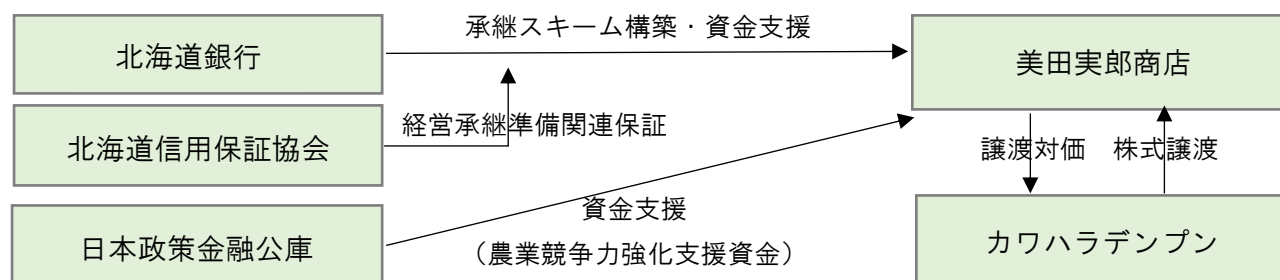
（※1）農業競争力強化支援資金

→良質かつ低廉な農業資材の供給及び農産物流通等の合理化実現のための制度資金

（※2）経営承継準備関連保証

→事業承継に伴う M & A の際に、他社株式等を取得するための制度

【スキーム図】



3. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
 ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 広報 CSR 室 坂野 TEL : 011-233-1005